

花王のアプローチ

社員が公私共に充実した日々を過ごすベースとなるのは「健康」であり、健康な社員と家族があって初めて事業が発展し、社会に貢献できるものと考えています。2008年に「花王グループ健康宣言」を社内外に発信して以来、「人財」活用のベースとなる健康支援、健康づくりを積極的に推進し、「健康経営」に取り組んでいます。2017年からはK20推進プロジェクトとして「社員と家族の健康維持(GENKI)プロジェクト」が発足し、全社横断での取り組みを推進しています。

社会的課題と花王が提供する価値

認識している社会的課題

- ・世界的な高齢化の進展と慢性疾患の増大
- ・日本における少子高齢化による医療費の増大
- ・寝たきり高齢者の増加

花王が提供する価値

花王では、会社と健康保険組合が協働で社員と家族の健康支援に取り組んでいます。健康な社員や家族を増やし、元気で活力ある職場を通して、よりよい企業活動を行なうことをめざしています。

また、生活習慣改善の奨励、積極的な保健指導を行なう等の予防的な取り組みにより、医療費の増加を抑制する努力を継続しています。快適職場推進の観点から、メリハリのある働き方の推進による長時間労働の抑制、管理者向けのメンタルヘルス研修等にも注力しています。

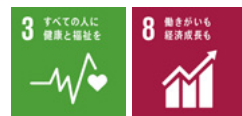
「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスク

シニア社員の増加により、生活習慣病リスクだけではなく、がんや筋骨格系などの疾患リスクが増加するリスクがあります。

「2030年のありたい姿」の実現に関わる機会

花王社員の健康づくりに活用しているプログラムは、社外にもサービス提供しており、地域や職場の健康づくりに利用されています。花王での取り組みが、社会・地域へ波及し社会全体の健康寿命の延伸に貢献できることを期待しています。

貢献するSDGs



方針

いきいきとすこやかな毎日を
花王グループ健康宣言

私たちは、日々いきいきと健康づくりに取り組み、すこやかで心豊かな生活の実現をはかるとともに、元気で活力ある職場を通し、お客様と共に感動する会社をめざします。

健康意識(ヘルスリテラシー)の高い社員づくりをめざして

花王では「ヘルスリテラシーの高い社員を増やす」ため、健康づくり活動の見える化を進め、PDCAサイクルを回しながら社員の健康度を上げていく「健康経営」に取り組んでいます。

花王の考えるヘルスリテラシーの高い社員とは、以下の通りです。

1. 健康診断の結果を見て自分の生活習慣を見直し改善を図る社員
2. 産業医だけでなく、必要に応じて健康データを見てアドバイスをもらえる医師を持つ社員
3. 自分の心の状況を確認し、必要に応じて相談できる人を持つ社員

「健康づくり」5つの取り組み

会社として最低限行なうべき「健康管理」のみならず、社員が自ら健康を維持増進することを「健康づくり」と呼び、5つの取り組みを中心に実施しています。

1. 生活習慣病
2. メンタルヘルス
3. 禁煙
4. がん
5. 女性の健康

体制

健康づくりマネジメントシステムの「見える化」の取り組みとしては、2009年から前年の健康データ(問診、健診、就業、疾病等)を個人が特定できない形で統計的にまとめ、全国18の健康相談室に提供しています。

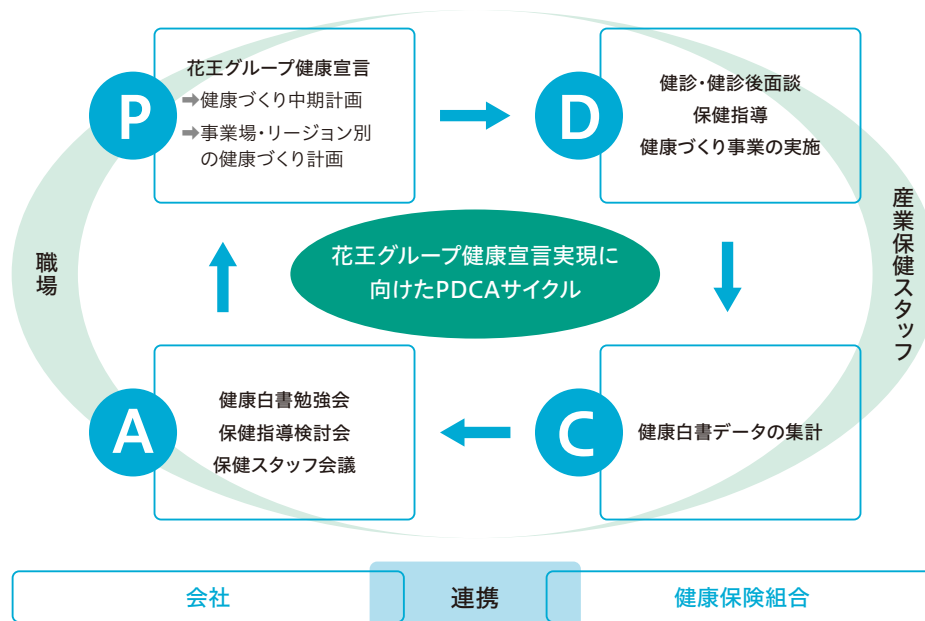
各健康相談室では、担当エリアの健康データをもとに、保健事業計画を立案・実施しています。

担当エリアの人事総務担当者や産業看護職が共に各種健康データを分析し、対策・立案を学ぶ健康白書勉強会は2009年から毎年開催しています。

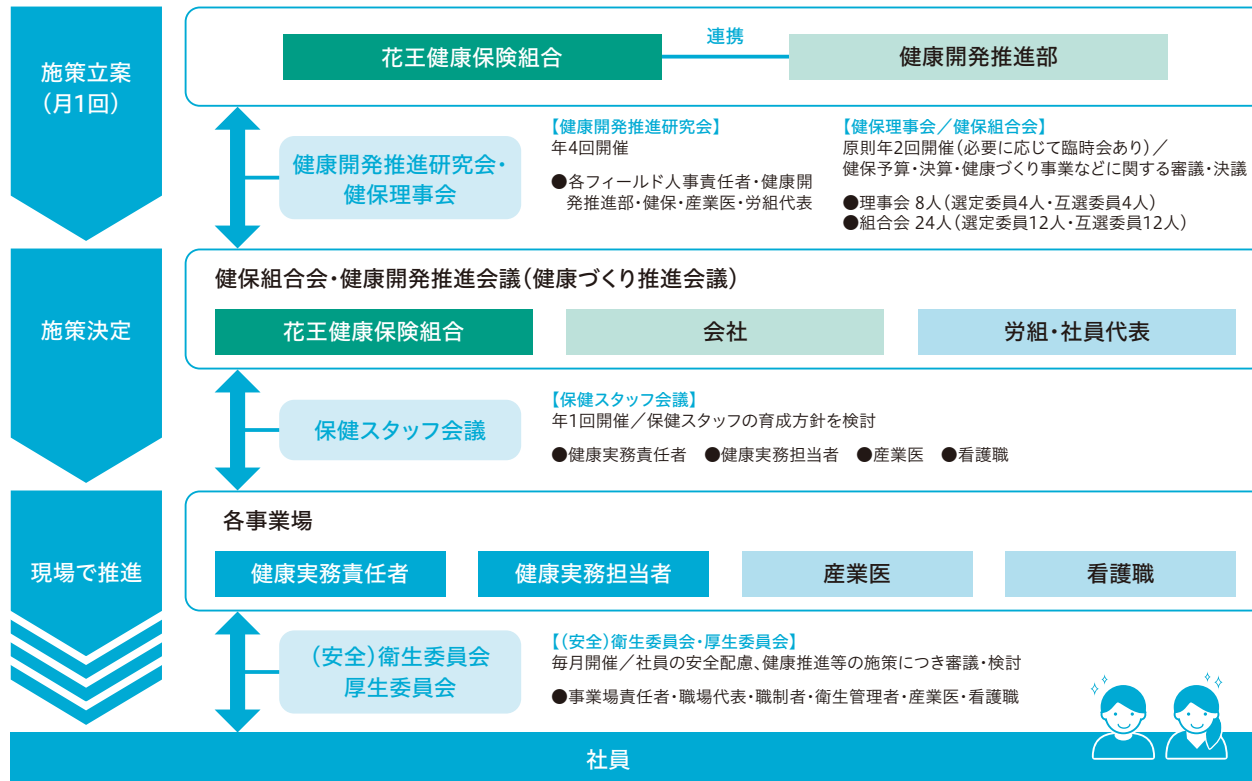
健康づくり推進体制の「組織化」

健康づくり施策の立案は、会社と健康保険組合が一体となっていない、月に一度、定期的なミーティングで議論しています。主要施策については、社員代表も交えた健保組合議員等やワーキンググループで検討したうえで、全社の健康づくり推進会議で施策を決定します。推進施策は各事業場・支社の「健康実務責任者」「健康実務担当者」が、産業医・看護職とともに取り組んでいます。

健康づくりマネジメントシステム



健康づくり推進体制



教育と浸透

社員に向けて

- ・「花王グループ健康宣言」を全社員に配布するとともに、社長より説示等で「花王グループの成長には健康であることがベースであり、花王グループ全体として健康経営を推進する」「社長自らも健康目標を立てて実行する。社員一人ひとりも今年の健康目標を立てて、実行してほしい」等、折に触れ、健康経営に関し言及し、浸透を図っています。
- ・「健康づくり」の5つの取り組みを中心に社内さまざまなキャンペーン、セミナー、各種健康増進活動を展開しています。

全社健康推進活動展開

活動内容	2018年実績
春のウォーキングキャンペーン	6,315人参加(家族含む)
禁煙マラソンキャンペーン	286人参加
機関紙やポスター等による健康情報の提供	年2回約26,000人対象

各事業所での健康推進活動展開

(イベント型/セミナー型/キャンペーン型を企画)

活動内容	2018年実績
生活習慣病関連:運動・栄養セミナー、体力測定、健康フェア、産業医講話等	120回開催、のべ24,084人参加
女性の健康:女性セミナー、更年期セミナー、30歳節目研修、食改善セミナー	13回開催、のべ1,363人参加
メンタルヘルス:メンタルヘルス研修、BA(美容販売員)・新入社員・昇格者セミナーにおけるメンタルヘルス研修	30回開催、のべ6,407人参加

保健スタッフの育成

- ・年に一度、健康実務責任者・担当者と産業医・看護職が集まる「保健スタッフ会議」を開催し、方針に対する意思統一と情報交換を図っています。
- ・健康データの見方や産業保健計画の立案方法を学ぶ「健康白書勉強会」、看護職の保健指導力向上を目的とした「保健指導検討会」等を実施しています。



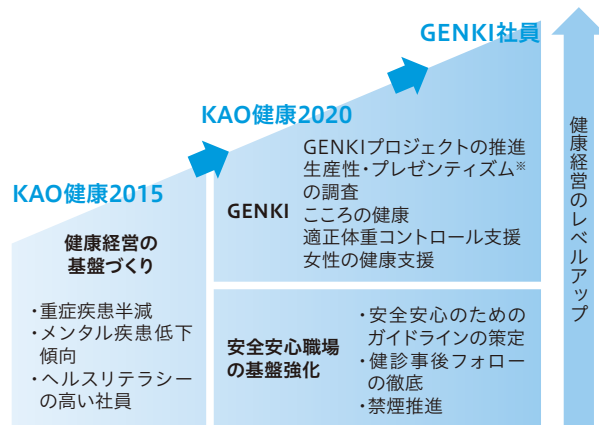
保健スタッフ会議で課題検討

中長期目標と実績

中長期目標(KAO健康2020)

2017年、花王は健康に関する中期計画「KAO健康2020」を策定しました。健康経営のさらなるレベルアップ、「GENKI社員」の育成をめざします。

KAO健康2020



変化を先導する元気な社員づくりと安全安心職場の基盤強化で、健康経営のさらなるレベルアップをめざす

※ プレゼンティズム

何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や労働生産性が低下している状態

中長期目標を達成することにより期待できること

コスト低減あるいは収益拡大

- ・長期休業者の低減による労働力の損失の防止
- ・特定保健指導対象者の減少による特定保健指導コストの削減
- ・モチベーションの高い社員の増加による生産性の向上

社会に及ぼす効果

- ・生産性が向上し、よりよい商品・サービスを社会に提供
- ・健康経営の推進状況を優良事例として社会に提供

2017年の実績※

社員の健康づくり推進状況

項目	2017年実績
定期健診受診率	100%
健診有所見者の再検査受診率	91.3%
朝食を週3回以上食べる社員	男性77.2%、女性74.3%
運動を週1回以上する社員	男性55.9%、女性31.8%
睡眠で十分な休息がとれている社員	男性68.4%、女性63.7%
たばこを吸わない社員	男性70.5%、女性80.0%
メタボリックシンドローム該当者予備群(35歳以上)	男性30.8%、女性6.4%
特定保健指導対象者	男性18.1%、女性6.6%
特定保健指導実施率	71.6%

※ 2018年実績は2019年4月末に集計される予定です。

ステークホルダーとの協働

花王で開発した効果的な健康サービスを外部の職域や地域にも提供し、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)やロコモティブシンドローム(運動器症候群)などの社会的健康課題の予防に役立てていただいています。また、外部機関との共同研究も推進しています。

健康サービスの社会・地域への波及

内臓脂肪の測定

内臓脂肪を測り生活習慣改善への気づきを提供するサービスを、地域・職域を通じて提供しています。2018年はのべ約130カ所、15,000人の方にご利用いただきました。

- ・内臓脂肪みえる化ステーション(日本肥満症予防協会と連携した内臓脂肪測定会):社外27回 約6,400人参加
- ・生活習慣測定会:
 - 社内:30カ所 約2,400人参加
 - 社外:68カ所 約6,600人参加

「スマート和食®」の普及

しっかり食べて内臓脂肪をためない食事法「スマート和食®」の普及にも取り組んでいます。

- ・保健師・栄養士など専門職向けの講習会:社外8回 220人参加
- ・社員食堂でのスマート和食®昼食の提供:社内11カ所、社外8カ所

歩行促進プログラム

身体活動とコミュニケーションの向上につながるプログラムでは、花王オリジナルの歩行計「ホコタッチ」の配布や、歩行の「質」を詳細に分析する「歩行基礎力測定会」を実施しています。

- ・ホコタッチ:
 - 社内スポット:67カ所 約8,200人参加
 - 社外契約先:20カ所、スポット124カ所 約3,600人参加
- ・歩行基礎力測定会
 - 社内:6回 約500人参加、社外:1回 70人参加

他企業健保との情報交換

一般社団法人 保険者機能を推進する会主催の会議・研究会にて、各健保の抱える課題の抽出、検討、改善事例の紹介など、参加健保間での情報交換を実施しています。その成果は、年1回の保険者機能推進全国大会において発表・報告しています。

「シニア層を中心としたコンソーシアム事業」展開

シニア層の健康促進と自治体へとつなぐ健康事業として、日本石鹼洗剤工業会など5健保と共同事業に取り組んでいます。

- ・健診未受診者を対象に生活行動調査と個別アドバイスシートの提供:231人参加(72%)
- ・専門職による生活習慣改善予防プログラムの実施:48人参加(21.6%)
- ・自治体との健康活動連携に向けたニーズ調査と課題発掘:234自治体より回答(82.9%)

弘前大学 COI 研究推進機構との共同研究

花王は2015年より弘前大学 COI に参画し、“最短命県”といわれている青森県において、健康経営企業の日々の健康づくり支援として花王の健康サービスの社会実装試験を行ってきました。これまでに、スマート和食®と内臓脂肪測定によるメタボ改善効果を株式会社青森銀行にて確認し、論文が日本栄養食糧学会誌に採択されています。

2018年は弘前市のタクシー会社、北星交通株式会社に花王の歩行支援システムを導入し、その結果、歩数増大とそれに伴うメタボ改善効果を確認しました。

具体的な取り組み

GENKIプロジェクトの推進

中期経営計画「K20」推進プロジェクトの一つとして「社員と家族の健康維持」プロジェクト(通称「GENKIプロジェクト」)を推進しています。花王グループのヘルスキアの知見や技術・製品を健康ソリューションとして社員やその家族に提供しています。

イベント活動

スマート和食[®]

「スマート和食[®]」は、花王が研究した内臓脂肪をためにくい食事法です。食事の量ではなく、①たんぱく質/脂質の比、②食物繊維/糖質の比、③オメガ3/脂質の比という3つのポイント(質)にこだわることで、ごはんを楽しくしっかり食べながら、内臓脂肪がたまりにくい食事ができるというものです。

- ・「スマート和食[®]」を日本11事業場の食堂でお昼ご飯のメニューとして提供
- ・スマート和食[®]マスター講座を産業医・看護職が11人受講。計56人がスマート和食[®]マスターに。社員向けの保健指導や健康教育に活用
- ・冊子「スマート和食[®]」を食育として社員に提供。社員にもスマート和食[®]メソッドを知ってもらう活動を実施
- ・スマート和食[®]のレシピを掲載した『おなか痩せの黄金「比」レシピ』(文藝春秋)を発行、社員の食育に活用(1,702人が対象)
- ・家族向けのスマート和食[®]料理教室をABCクッキングスタジオ(運営:株式会社ABC Cooking Studio)で実施。社員と家族60人が参加

生活習慣測定会

自分の内臓脂肪面積を知り、今後の生活習慣改善に役立てています。

- ・日本事業場・支社・支店30カ所2,300人が生活習慣測定会に参加

歩行測定会・ホコタッチ

歩き方を分析して「歩行年齢」や将来の「生活機能リスク」を知ることができる歩行測定会や、日々の生活習慣改善を促す花王オリジナルの歩行計「ホコタッチ」の貸し出しを行なっています。

- ・社内6事業場で歩行測定会を実施。500人が歩行測定に参加
- ・ホコタッチを67スポットで8,200人に貸し出し。継続利用率57%で、その66%が歩数も歩行スピードも多いAランクを1日以上マークした

ヘルシアを用いた健康イベント

日本事業場で運動や健康にまつわるイベント参加を推奨しています。イベント参加者にはヘルシアを1本進呈しています。また、「チャレンジヘルシアプログラム」

と題し、花王本社にてヘルシアを活用して社員を健康にするプログラムを実施しました。

- ・イベントに28事業場、93イベントで13,539人が参加



「スマート和食[®]」を提供している社員食堂



家族と一緒に参加できる「スマート和食[®]」料理教室

キャンペーン・広報活動

健康的な職場風土づくりのため、健康にまつわる全社キャンペーンを推進しています。

減量チャレンジ

2月1日～3月14日の42日間で2kgの減量に取り組むキャンペーン(BMI19未満対象外)です。

- ・1,925人参加(参加率8.8%)、マイナス2kg達成者は474人(24.6%)
- ・キャンペーンと同時に冊子「スマート和食[®]」を配布。スマート和食[®]生活の実践推奨

ヘルシアウォーキングチャレンジ

4月1日～6月30日までの91日間、1日1本のヘルシアを飲みながらウォーキングを実践するキャンペーンです。

- ・社員と家族6,315人参加(社員参加率18.2%)、アンケート回答者991人中の体重減少者32.3%、歩くことが習慣化した者84.2%

あなたの減量チャレンジ

(2017年の特定保健指導対象者限定)

健診2カ月前から42日間の減量に取り組むキャンペーンです。

- ・計5回実施、467人参加、減量効果のあった者70人(15%)

女性の健康支援

女性特有の疾患の予防や、悩みを相談できるプログラムを用意しています。

- ・「SUKOYAKA Women's News」を1・4・7・10月に配信
- ・女性の健康相談窓口にて女性に特化した健康相談に産業医が対応

生産性・プレゼンティズム調査

生産性の発揮を阻害するプレゼンティズム要因を追求し、対応策を検討しています。

- ・社員のパフォーマンス発揮度とプレゼンティズム要因調査を実施



FUN + WALK ヘルシアウォーキングチャレンジ



女性の健康セミナー

メンタルヘルスケア(こころの健康)

日本の従業員を対象に、法定のストレスチェックを活用した、より予防的な取り組みを推進しています。

高ストレスと判断された社員のうち、回答結果から早期の対応が必要と判断される方には、看護職が速やかにフォローを実施しています。またそれ以外の高ストレスの方で、面接希望が無い場合でも、看護職や外部EAP(従業員支援プログラム)からのフォローがあります。

またストレスチェックの集団分析を踏まえた報告会を会社単位、部門単位、健康相談室単位で実施。優先対応職場の基準を定め、職場環境改善の取り組みを進めています。

複数の相談窓口(外部EAP、社内カウンセラー、各事業場・支社の健康相談室等)により、さまざまな相談に対応しています。管理者向けやセルフケア等の研修も計画的に実施しています。

また、販売エリアでは、看護職や社内カウンセラーによるセルフケア研修を全社員に向けて実施しています。

全社メンタルヘルスケア活動展開

項目	2018年実績
ストレスチェック受検率	96.9%
高ストレス者率	1.4%増加
管理者向け研修	9回開催
セルフケア研修	24回開催
外部EAPの利用率(件数/対象社員)	電話170件、メール1,789件
社内カウンセラーによるカウンセリング(キャリア面談中心)	12,563人

安全安心職場の基盤強化

健康経営の基盤を支える安全安心職場を実現するための取り組みを推進しています。

禁煙推進

2016年5月に発信された花王グループ「禁煙への取り組み」方針に基づき、2018年1月から就業時間内禁煙を推進しています。

- ・花王グループ禁煙マラソンを2018年1月と5月に実施。計285人参加(うち禁煙達成者104人)(参加者前年比4%増)
- ・花王健康保険組合より禁煙達成者への禁煙治療費用補助を22人に対して実施
- ・花王健康保険組合よりオンライン禁煙プログラム実施。47人参加のうち6カ月継続禁煙達成率は78.7%



就業時間内禁煙告知ポスター

長時間労働者の健康チェックの拡大

花王では長時間労働の削減を推進していますが、現状では繁忙期に長時間労働となってしまう社員がみられます。社員が長時間労働で受けた過労・ストレスについて、予兆や潜在的SOSを早期に察知するため、以下の通り長時間労働者の健康チェックをよりきめ細かに実施することとしました。

1. 産業医面談対象者拡大

対象者: 時間外労働1カ月100時間超⇒80時間超

2. Web健康チェック(簡易診断)追加導入

対象者: 時間外労働1カ月80時間超、2～6カ月平均60時間超